

令和 2 年度
事務事業評価シート
中央公民館
(図 書 館)
歴史民俗資料館

総合評価ランク

A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている
C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い
D	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要

野辺地町教育委員会

目 次

1 一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	
（ 1 ） みんなの教室（中央公民館）	67
（ 2 ） 野辺地町文化祭（中央公民館）	68
（ 3 ） 成人式（中央公民館）	69
（ 4 ） 各世代に対応した図書館事業の実施（図書館）	70
（ 5 ） 各種広報活動の充実（図書館）	71
2 次世代を担う青少年の育成	
（ 1 ） 文化少年団活動（中央公民館）	72
3 地域を支える人材の育成	
（ 1 ） 図書館サークル・おはなしボランティアの育成（図書館）	73
4 学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上	
（ 1 ） 親子ふれあい読書「家読」の奨励（図書館）	74
（ 2 ） 学校等と連携協力した読書活動の推進（図書館）	75
5 社会教育推進のための基盤整備	
（ 1 ） 中央公民館施設の整備（公民館）（新規）	76
（ 2 ） 図書館施設の整備（図書館）	77
6 文化財の保護・保存	
（ 1 ） 県史跡「藩境塚」「野辺地戦争死者の墓所」ほか町内史跡管理（歴史民俗資料館）	78
（ 2 ） 旧野村家住宅離れ（行在所）の公開と維持管理（歴史民俗資料館）	79
（ 3 ） 文化財調査事業（歴史民俗資料館）	80
7 文化財の整備と活用	
（ 1 ） 文化財活用事業の実施（歴史民俗資料館）	81
8 郷土の歴史・文化・芸術の保存及び継承	
（ 1 ） 民俗芸能の保存と継承（歴史民俗資料館）	82
9 資料館施設の整備充実	
（ 1 ） 特別展・各種講習会等の普及事業の開催（歴史民俗資料館）	83
（ 2 ） 資料のデータベース作成・整備事業（歴史民俗資料館）	84
（ 3 ） 館内環境整備事業（歴史民俗資料館）	85

事務事業評価シート

施 策 名	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	担当課名	中央公民館
事務事業名	みんなの教室	担当者名	野坂 洸太

事業の目的 ・内容	町民の学習意欲に応えるため、魅力ある教室を開設し町民のふれあいと趣味の高揚を図るとともに生涯学習の一環として実施する。 収入 0円 支出 0円			
事業の対象	一般			
事業費	年 度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金 額	1,377 千円	0 千円	1,282 千円

事業の実績 ・成果等 (数値)	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
-----------------------	------------------------------	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	成果：講座数、受講者数ともに微増の状況にあり、各講座において実りある活動に繋がっているのではないと思われる。 課題：高齢化により参加者が固定化傾向にあり、新たな参加者がなかなか増えない。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	B	B	B	B	A

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

・今後もぜひ継続してほしい活動です。参加者の増加により、更に交流の場が明るくなってほしいです。 ・町民同士のふれあいの場としてとても良いが、減ってきている状況への対策を積極的に行ってほしい。 ・若い方々も参加しやすいような工夫が必要かと思う。 ・受講者数が400名を超えてはいるが、参加者が固定化してきているので、少しずつでもよいので事業についての創意工夫をしてもらいたい。

評価委員意見(令和2年度)

・新たな参加者を確保するには、「魅力ある教室」と「周知・広報」だと思います。 ・コロナ禍で残念だったが、今後も必要な事業だと評価します。 ・コロナ禍では自主活動となり、大変だったと思います。今後も若い方々が参加できるような教室が行えればよいと思っています。

事務事業評価シート

施 策 名	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	担当課名	中央公民館
事務事業名	野辺地町文化祭	担当者名	野坂 洸太

事業の目的・内容	文化祭実行委員会を組織して開催し、芸能部門と展示部門で、日頃の練習成果や学習作品など発表。			
事業の対象	文化振興協議会・みんなの教室・一般			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	102 千円	0 千円	0 千円

事業の実績・成果等 (数値)	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
-------------------	------------------------------	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	令和2年度文化祭は、町民の健康・安全を最優先し、文化祭を中止とした。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

・文化祭がある事によって、日ごろの活動の場も有り、町民同士の出会いの場はもちろん、活躍のひとつになっているので、今後も継続してほしいです。 ・展示発表の場があるのは、モチベーションにつながるので継続して行ってほしい。 ・発表の貴重な場であると思うので、継続して欲しい。 ・来場者数が800名近く、町民が楽しみにしている行事。

評価委員意見(令和2年度)

・2年連続で中止になったのは残念。徐々に人の集まりは緩和されているので、代替行事案も計画に入れ、令和4年度は実施を望む。 ・コロナ禍で残念だったが、今後も必要な事業だと評価します。 ・令和2年度も中止となり、日頃から発表の場を目標にして練習を重ねていらした方々は残念に思っていると感じています。そんな中、ハワイフラダンスは身内で発表会ができてよかった。
--

事務事業評価シート

施 策 名	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	担当課名	中央公民館
事務事業名	成人式	担当者名	野坂 洸太

事業の目的・内容	令和2年度中に20歳に達する、新成人の門出を祝うため、成人式を開催する。			
事業の対象	平成12年4月2日～平成13年4月1日生まれの成人			
事業費	年度	平成31年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	559千円	450千円	469千円

事業の実績・成果等 (数値)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	新成人104名へ記念品及び町長のメッセージ等入りDVDの送付			

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	令和3年成人式については、感染拡大防止を優先し中止としたが、新成人及び公民館を利用する町民の健康・安全のためにはやむを得ない判断だった。令和4年成人式については、新型コロナウイルス感染状況にもよるが、対策等をしっかり講じ、最善を尽くしての開催を目指したい。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	B	C	B	C	B

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

- ・毎年、20歳を迎える祝いの場に、たくさんの参加と共に保護者の方々も参加されるので、会場及び開催方法等を検討してほしい。
- ・昨今の状況を踏まえ、子供1人に対し、保護者2人又はそれ以上に付き添いが来ることは予想できるので、しっかりした対応を期待する。
- ・参加したいと思える成人式、参加して良かったと思える成人式であって欲しい。
- ・アフターコロナでの成人式はどうあればよいか?非常に難題ではあるが、一生に一度の記念なので、どのように開催するかは、アイデアを広く求めたいところ。

評価委員意見(令和2年度)

- ・コロナがなければ成人式はあってもよいと思う。
- ・コロナ禍で残念だったが、人生で節目となる行事なので、記念品やDVDを贈呈できたことは評価する。
- ・町民一人一人の祝いの席を大切にしてほしい。成人式のお知らせの方法を考えてほしい。特にコロナ禍だからこそその工夫が絶対必要と思います。内容も含めて。
- ・できないことばかり考えるのではなく、どうすればより良いものになるのかの工夫がほしい。

事務事業評価シート

施 策 名	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	担当課名	図書館
事務事業名	各世代に対応した図書館事業の実施	担当者名	吉田 真希子

事業の目的・内容	生涯学習施設の拠点として、0歳から高齢者までを対象とした各種事業を実施し、趣味や学習の場を提供するとともに、読書の推進と文化の振興を目的に実施する。			
事業の対象	町民（乳幼児、小学生、中学生、一般）			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	38 千円	37 千円	37 千円

事業の実績・成果等（数値）	【乳幼児】ヨチヨチおはなし会（8回・親子31組延べ63名） 【小学生】おはなし工房（10回・76名）、子ども映画会（2回・20名）、第12回のへじふるさとカルタ大会（1回・13名） 【小学新1年生】のへじふるさとカルタの贈呈（1回・78点） 【乳幼児・小学生】ドキドキおはなし会（1回・13名） 【乳幼児～中学生】第60回読書マラソン（1回・94名） 【一般】文学散歩（1回・14名）、大人の工作会（1回・5名） 【全年齢】読書deスタンプラリー（1回・80名）、本の展示（通年）、古雑誌等無料譲渡回（1回・103名221点）			
---------------	---	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	【成果】 新型コロナウイルスへの感染対策を行い、コロナ禍でも各世代を対象とした事業を実施することができた。 【課題】 安心して利用できるよう感染対策を講じ各種事業を実施したが、全体的に減少傾向となった。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見（参考：平成31年度の評価意見）

・とても良い事なので継続してほしいです。

・たくさんの事業を積極的に行い、本にふれあう機会を増やしたいという思いが伝わり、真に評価できる。

・読書マラソン、お話工房、読書deスタンプラリー等、結構な数の参加者がいるので、その人たちの感想などを広報等に載せてみてはどうか。

評価委員意見（令和2年度）

・読書マラソンという企画1つでも児童は本を借りている。本来子どもは本好きなので、周知だけは幅広く行ってもらいたい。

・IT社会において読書文化というのは、これからの時代特に重要視される事業だと評価します。

・コロナ対策をしながらの実施は努力しているのが伺えます。

・コロナ禍の中実施したことは評価する。

・コロナでありながらも工夫することで活動を続けていたことは評価できる。図書館は町民にとってとても安心できるスペースだと思うので、各年代を対象として活動の継続を望む。

事務事業評価シート

施 策 名	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	担当課名	図書館
事務事業名	各種広報活動の充実	担当者名	吉田 真希子

事業の目的・内容	各世代に対応した細やかな広報活動を行い、図書館事業や読書活動を推進する。			
事業の対象	町民（乳幼児の保護者、小学生、中学生、一般）			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	70 千円	70 千円	70 千円

事業の実績・成果等（数値）	○世代別図書館だよりの発行。 ・乳幼児の保護者対象：図書館だより「ほんわか」 2回・各300部 ・小学生対象：図書館だより「わくわく」 2回・各550部 ・中学生対象：図書館通信「ティーンズ」 1回・各300部 ・一般対象：図書館だより 1回・各5,550部			
	○ホームページ休止中 ○ツイッター ツイッター数：1,390ツイート、フォロワー数：757（R3.5.20現在） ○その他 ブックスタート事業での「図書館利用案内」および「ヨチヨチおはなし会」案内配布。			

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い	
評価説明及び考察、課題	【成果】 各世代に向け「図書館だより（紙媒体）」にて情報発信を行った。 【課題】 ホームページが休止中のため、効果的な情報発信ができない。ツイッターは閉鎖予定であるが、今後どうするか検討が必要である。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	C	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		C	C	B	C	B	B

評価委員意見（参考：平成31年度の評価意見）

・図書館だよりの情報が、いろいろ有り、とても良いと思います。
・ホームページのアクセス数が、年度別で把握できるようにしてほしい。

評価委員意見（令和2年度）

・ホームページが休止中でも広報活動はできるはず。アナログ時代を思い返し、広報活動を行ってほしい。
・現在実施している広報活動で、各世代に情報発信が適切に行われているか検討及び改善も必要と思います。
・今後具体的にどのように情報発信していくのか。図書館システムが決まればと思う（紙でのお知らせのみか、ホームページか）。
・ホームページ休止中は残念。財政が伴うと思うが、早期解決を望む。
・ホームページも休止中、来年はツイッターも閉鎖。どのような方法で具体的な情報発信をしていくのかとても不安。

事務事業評価シート

施 策 名	次世代を担う青少年の育成	担当課名	中央公民館
事務事業名	文化少年団活動	担当者名	野坂 洸太

事業の目的・内容	学校教育活動以外において、青少年に文化活動を図り、青少年の健全育成を図る。			
事業の対象	小学生及び中学生			
事業費	年 度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金 額	154 千円	0 千円	0 千円

事業の実績・成果等 (数値)	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
-------------------	------------------------------	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	青少年の健康・安全を最優先にし、令和2年度文化少年団は中止とした。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

・日本の文化を学べる場所なので、今後もぜひ継続してほしいです。楽しくすごせると参加者も増加していくと思います。 ・子供たちにアンケートをとり、今の子供たちの興味を知ることが必要ではないかと思う。 ・子供たちが本当に参加したいと思う講座内容なのか、少々疑問。 ・スポーツ少年団に入る傾向は確かにあるが、文化的な室内での知的な遊びに興味を抱く子供も多くいるので、やはり周知と参加しやすさがカギだと思う。

評価委員意見(令和2年度)

・スポ少と文化少年団は対になってこそ青少年の健全育成に役立つと思う。 ・コロナ禍で残念だったが、今後も必要な事業だと評価します。 ・コロナ禍での中止が続くと子どもたちも離れていくのではと心配になりますが、いろいろな活動を工夫して今後も続けていってほしいです。
--

事務事業評価シート

施 策 名	地域を支える人材の育成	担当課名	図書館
事務事業名	図書館サークル・おはなしボランティアの育成	担当者名	吉田 真希子

事業の目的・内容	読書の楽しさや素晴らしさを伝えるおはなしボランティアやサークルを育成し、図書館との協働による読書の推進を図る。			
事業の対象	町民			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	10 千円	10 千円	10 千円

事業の実績・成果等 (数値)	【朗読の会「秋桜」】(H7.5.18発足、会員数8名) 活動内容：定例会(月1回)、朗読のつどい(年1回)、学校・保育園への読み聞かせ訪問			
	【おはなしサークル「虹色の会」】(H8.6.27発足、会員数13名) 活動内容：定例会(月1回)、学校への読み聞かせ訪問、図書館行事「ドキドキおはなし会(年1回)」「出前おはなし会の実施」への協力			
	【子ども司書クラブ】(H28.10.6発足、会員数1名) 活動内容：図書館行事とカウンター業務の手伝い、おすすめのPOP作成 など			

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	【成果】 コロナ禍での感染リスクを抑え、各団体が円滑に活動できるよう支援していることにより、継続した活動ができている。 【課題】 各サークルの平均年齢が高くなってきており、新規会員の加入や世代交代等が望まれるが、なかなか加入者が増えない。		
事業の方向性	☒ さらに重点化する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中演委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

・本の世界、お話の世界の豊かさを大人が知り、子供たちへ橋渡しして行けたら、心の育つチャンスとなると思っています。今後の方向性や活動が楽しみです。

・学校やPTAと協力することにより、たくさんの情報を共有することができるので、これからの活動に期待する。

・どの事業においても高齢化が懸念されているようなので、もっと幅広い世代に声を掛ける必要があるのではないかと。

・ボランティアやサークルのやりがいを見ると、やはり、人々に喜んでもらえる活動が重要。コロナ禍の中で、それをどのように行っていけるのか検討をお願いしたい。

評価委員意見(令和2年度)

・図書館司書の資格取得に年齢制限はないのだから、「あなたも資格を取ってみませんか」と中学生・高校生にもっと募集をかけてみてはどうか。

・IT社会において読書文化というのは、これからの時代特に重要視される事業だと評価します。

・今後も続けていってほしいです。

・子ども司書クラブの会員数1名がとても寂しい。10年ほど前はもっと活動が盛んで、取り組み方も一生懸命だった。もう少し努力し盛り上げていきたい。

事務事業評価シート

施 策 名	学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上	担当課名	図書館
事務事業名	親子ふれあい読書「家読」の奨励	担当者名	吉田 真希子

事業の目的・内容	肉声による親子ふれあい読書を推進するために実施。 ・健康づくり課主催の健診の場を活用し、ブックスタート（毎月・6ヶ月児対象）とブックスタートプラス（隔月・1歳6ヶ月児対象）を実施。ブックスタートでは、絵本の読み聞かせ、ベビーマッサージ、ブックスタートバック（絵本、図書館の利用案内、家読のCDほか）を贈呈。 ・ヨチヨチおはなし会（再掲）（3歳未満児対象）			
事業の対象	乳幼児とその保護者			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	5 千円	253 千円	5 千円

事業の実績・成果等（数値）	・ブックスタート事業 12回（41組延べ82名） ・ブックスタートプラス 6回（61組延べ122名） ・ヨチヨチおはなし会 8回（31組延べ63名）[再掲] ・乳幼児の保護者向け図書館だより「ほんわか」発行 2回（各300部）[再掲]			
---------------	--	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	【成果】 読み聞かせや図書館デビューのきっかけとなっている。 【課題】 ブックスタート事業で配布しているCDが、聞くための機器がないなどの理由によりあまり利用されていない。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見（参考：平成31年度の評価意見）

・時代はどんどん変化し、ゲームで過ごす時間が多くなり、なかなか本と一緒に過ごす時間が少なくなっているのでしょう。想像の世界を旅する子どもが徐々にでも増えることを願います。 ・家読も様々な仕組みを変えながら今まで継続して行っているということは、やはり本から得るもの大きいからなのだと思う。これからも根づかせるための活動を期待する。 ・親子で読書の時間を見つけるのも難しい。

評価委員意見（令和2年度）

・図書館デビューのきっかけとなっているようなので、幼児向けの読書推進は欠かせない。 ・「CD」→「DVD」で「聞く」→「見る・聞く」へ。配布することも検討していただきたい。 ・ふれあいのチャンスはほとんど無くなっているこの時代、少しでも本に触れて心豊かに親子がつながるきっかけになればと思います。 ・とても良い事業であるが、せっかくの贈呈品がうまく活用されていないことに問題がある。乳幼児と保護者が楽しく利用できるよう更なる努力を望む。

事務事業評価シート

施 策 名	学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上	担当課名	図書館
事務事業名	学校等と連携協力した読書活動の推進	担当者名	吉田 真希子

事業の目的・内容	図書館サークルをはじめ、町の各種団体、学校、地域と連携し、読書の普及を図る。			
事業の対象	町民			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	10 千円	10 千円	10 千円

事業の実績・成果等（数値）	【学校・幼稚園・保育園】 ・小学校「朝の読書」での読み聞かせ 60回（延べ1,443名） ・中学校職場体験・職場講和 2回（延べ13名） ・図書館見学・生活科探検の受入 2回（17名） ・学校配本 1回（344冊） ・出前おはなし会 1回（42名） ・幼稚園・保育園・小学校への巡回配本 9か所（1,240冊） 【その他】 ・団体貸出 8団体（232冊） ・野辺地ロータリークラブ主催読書感想文コンクールへの後援			
---------------	---	--	--	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び 考察、課題	【課題】 ・図書館ボランティアやサークルをはじめ、関係機関と連携、協力しながら読書活動の推進に努める。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		A	A	B	B	A	A

評価委員意見（参考：平成31年度の評価意見）

・本とふれあう時間が少しでも出来るようになり、嬉しく思っています。図書館の行事がいろいろと重なっている部分が多いので、もう少し工夫が必要だと思います。

評価委員意見（令和2年度）

・学校への広報活動をより活発にしてほしい。学校にはない本が図書館にあるというのを強調してほしい。

・IT社会において読書文化というのは、これからの時代特に重要視される事業だと評価します。

・継続を希望します。

・読書による知識は自分の財産であると思うので、これからも継続していつてほしいです。

事務事業評価シート

施 策 名	社会教育推進のための基盤整備	担当課名	中央公民館
事務事業名	中央公民館施設の整備(新規)	担当者名	野坂 洸太

事業の目的・内容	・新型コロナウイルス感染症対策			
事業の対象	施設及び設備			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	0 千円	1,067 千円	6,726 千円

事業の実績・成果等(数値)	○主なもの 【新型コロナ対策】 令和2年度 ・アクリル板及びパーテーション購入 1,067,000円 内訳 対面アクリルスクリーン 50台 クランプ式パーテーション 35台 飛沫防止スタンド 10セット ・各部屋にアルコール消毒液及びペーパータオルの設置			
---------------	--	--	--	--

事業 の 評 価 （ 自 己 評 価 ）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び 考察、課題	【成果】 新型コロナウイルス感染症対策の環境整備ができた。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		A	A	B	B	A	—

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

新規の取組みのため前年度の評価なし

評価委員意見(令和2年度)

・公民館は誰もが使う公共施設。毎年環境整備は必要だと思う。 ・施設を閉鎖することなく対策を適切に行い、利用できる状態で維持管理されているので評価する。 ・今後大地震がくると言われていますが、調理室の食器のガラス窓に透明シートなどを貼ったりして、お皿が飛んでこないようにした方が安全だと思います。 ・コロナ対策の備品購入としては、妥当だと思う。
--

事務事業評価シート

施 策 名	社会教育推進のための基盤整備	担当課名	図書館
事務事業名	図書館施設の整備	担当者名	吉田 真希子

事業の目的・内容	・環境整備を行い、利用に供する。			
事業の対象	施設及び設備			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	4,430 千円	2,928 千円	100 千円

事業の実績・成果等（数値）	○主なもの 【経年劣化による修繕】 ・トイレタイル修繕（6月） 280,500円 ・ボイラー関係の修繕（8・12月） 32,549円 ・天井照明器具（1月） 51,700円 【新型コロナ対策】 ・人感センサー（11月） 99,000円 ・空気清浄機の設置（2月） 2,464,000円			
---------------	--	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	【成果】 環境整備や緊急時の安全性が向上した。 【課題】 老朽化により修繕箇所が多くなってきている。修繕対応に係る業務量が増加傾向にあるため人員と予算の確保が求められる。		
事業の方向性	☒ さらに重点化する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	A	B	B	A	A

評価委員意見（参考：平成31年度の評価意見）

・図書館が過ごしやすくなって、とても良いと思います。 ・快適に過ごせる環境づくりに感謝します。 ・図書館の改修工事は必要なこと。一度に3つも4つもの工事を計画するのではなく、1年目、2年目、3年目と年次計画は立てられないものなのか。

評価委員意見（令和2年度）

・施設を閉鎖することなく対策を適切に行い、利用できる状態で維持管理されているので評価する。 ・担当課の評価のとおり。 ・コロナ対策の備品購入により更に安心感を高められ、町民にもゆっくり利用してもらえる施設になったのではないかと思います。

事務事業評価シート

施 策 名	文化財の保護・保存	担当課名	歴史民俗資料館
事務事業名	県史跡「藩境塚」「野辺地戦争戦死者の墓所」ほか町内史跡管理	担当者名	山崎 杏由

事業の目的・内容	・県史跡「藩境塚」「野辺地戦争戦死者の墓所」「一里塚」の維持管理。 ・町指定・未指定史跡の維持管理。			
事業の対象	一般			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	1,183 千円	548 千円	537 千円

事業の実績・成果等（数値）	支出	藩境塚維持管理費	528,001円
		戦死者の墓所事業費	20,000円
■藩境塚 開放期間：4月5日～11月30日（公衆トイレ清掃/週5日） ■野辺地戦争戦死者の墓所 開放期間：通年（花壇整備/馬門長生会） ■一里塚 開放期間：特になし（2か月に1回草刈りを実施） ■町指定・未指定史跡：修繕等なし			

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い	
評価説明及び 考察、課題	成果： 史跡の維持管理は図れており、利用者から大きな不満の声等はない。 課題： ・一里塚公有化と活用の検討。案内板等の老朽化及び記載内容の更新。 ・各史跡に設置している案内板等の修繕。 ・藩境塚公衆トイレの老朽化が見られ、修繕が必要。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	C	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

・日本の歴史の1ページとなるたくさんの史跡が野辺地町には残っています。1つ1つの事業が大切に行われて、守られていく事を希望します。 ・文化財の保護に努め、より良きものにするための努力が伺える。

評価委員意見(令和2年度)

・老朽化した施設の改修が必要と思うが予算もかかるので、何を優先して改修するかも検討が必要と思う。 ・少しずつゆっくりではあるが町民の目に映る時間も増え、環境整備も行われ、大事に守っていくのだということが伝わってくる。

事務事業評価シート

施 策 名	文化財の保護・保存	担当課名	歴史民俗資料館
事務事業名	旧野村家住宅離れ（行在所）の公開と維持管理	担当者名	山崎 杏由

事業の目的・内容	国登録有形文化財「旧野村家住宅離れ」の公開と維持管理。			
事業の対象	一般			
事業費	年 度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金 額	481 千円	408 千円	670 千円

事業の実績・成果等 (数値)	公開期間：４月１日～１１月３０日		
	支出	行在所維持管理費	408,830円
	施設の公開、通常の維持管理、池掃除のほか、庭園内の樹木剪定を実施。		
	文化財防火デーには消防訓練を実施した。		
	また、行在所用消火器を購入した。（既存消火器から更新）		
	見学者（記帳者）数：586人（うち町外140人）		
	※H31記帳者：837人（うち町外309名）		

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	成果：継続し町内見学者が増え、郷土史への関心を高める施設となっている。 課題： ・通常は無人の施設なので防災・防犯上の課題がある。 ・見学者への駐車スペースの確保。 ・修繕が必要な箇所が見られることから、計画的な改修を行いたい。		
事業の方向性	☒ さらに重点化する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見（参考：平成31年度の評価意見）

・今後も継続してほしい。バスで来町した方々への工夫もされていて、遠くから近くから、たくさんの方々に感動を与えられるイベントも増えていってほしいと思いました。 ・見学に来る人が今後増えることを期待し、駐車場、トイレの整備に努めてほしい。行在所内はとてもきれいになった。 ・もっと広くアピールをしても良いと思う。

評価委員意見（令和2年度）

・町内利用者は減っていないので、修繕は計画的に行ってほしい。 ・衛生管理が行き届いていれば見学者は増えると思うので、評価します。 ・行在所を町民に公開できる機会をたくさん作っていただいて、大切な文化財への興味を町民にいだかせているのは有難いです。人のいない時の防火面など不安な部分もあるので、その解消がこれからの課題かと思います。
--

事務事業評価シート

施 策 名	文化財の保護・保存	担当課名	歴史民俗資料館
事務事業名	文化財調査事業	担当者名	山崎 杏由

事業の目的・内容	町内の指定・未指定文化財の保護と活用を図るために、文化財調査を行う。 また、調査文化財は保存と継承を図るため、文化財指定（町・県等）を進める。			
事業の対象	一般			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	1,358 千円	745 千円	2,382 千円

事業の実績・成果等（数値）	①祇園囃子・神楽の保存・継承に係る調査 弘前大学の調査を引き継ぎ、野辺地の山車行事に関する文化財調査を実施。 調査は複数年予定し、本年度は祇園・神楽の採譜・記録に関する事前調査を実施。 調査者：弘前大学人文社会科学部 非常勤講師 下田 雄次氏、調査回数：5回 ②野辺地町の山車行事と民俗調査報告会兼県内山車行事フォーラム開催 2 カ年で実施した民俗調査の報告と、県内山車行事実施市町村の事例発表と意見交換会を開催。内容は動画サイト「YouTube」にて配信中。			
---------------	---	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☒ 必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	成果： 調査により、各祭典部の祇園・神楽に関する概要を知ることができた。 課題： ・ 調査結果の活用により、当該文化財の県指定に向けた取組みを検討。 ・ 調査を活用し、文化財の保存・継承に関する取組みを検討したい。 ・ 調査をするうえで、関係団体との関係づくりが必要不可欠。		
事業の方向性	☒ さらに重点化する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見（参考：平成31年度の評価意見）

・視点を変えると、町の文化、全てが町の宝であると思います。絶やすことなく活動しているのは、素晴らしいと思います。今後もぜひ継続してほしいです。 ・これからの文化の継承に、とても意義のある事業だと思う。せっかくできた報告書を町民が様々な機会で活用してもらう工夫ができればもっと素晴らしいのではないかな。

評価委員意見（令和2年度）

・記録業務が2年度から3年度にスライドしたとのこと。期待したい。 ・歴史・文化保存のため、町民にとっても将来有効なものになる重要な事業です。またYouTube配信されているということで、全国区な活動も十分評価します。 ・たくさんの方の力をしなければならず、大変だったと思います。今後も貴重な資料作り等を継続してほしいと思います。 ・忘れ去られてしまう各地域の様々な文化を、風化させないために頑張ってもらいたいと思います。

事務事業評価シート

施 策 名	文化財の整備と活用	担当課名	歴史民俗資料館
事務事業名	文化財活用事業の実施	担当者名	山崎 杏由

事業の目的・内容	文化財の周知・活用と活用人材を育成するため、下記事業を実施した。 ①縄文PR・活用事業の開催 ②まちあるきの開催 ③旧野村家住宅離れ（行在所）夜間特別公開の実施			
事業の対象	一般			
事業費	年 度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金 額	1,326 千円	1,258 千円	2,481 千円

事業の実績・成果等（数値）	1. 縄文PR・活用事業 野辺地中学校美術部・県内デザイナーと連携し、縄文くらら（国指定重要文化財・土偶）グッズとくらや野辺地町をPRするためのチラシを製作。 2. 日本遺産活用事業 校外学習を活用し、地域の歴史を知るふるさと学習を実施。回数/2校、参加者/93名 3. 旧野村家住宅離れ夜間特別開放 来場者数/136名（H31/256名） 祇園囃子・神楽の演奏、雅楽演奏、イルミネーションによる庭園ライトアップ			
---------------	---	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	成果： 文化財の周知・活用を図ることが出来た。 課題： ・若い世代の文化財活用人材・団体の育成が課題。 ・文化財に関心をもってもらえるような事業の検討、実施。 ・事業効果や成果が短期的には見えない為、評価や改善が難しい。 ・徐々に文化財を知ってもらうため、継続した事業実施が必要。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見（参考：平成31年度の評価意見）

・くららグッズが売れているのは、嬉しいです。若い世代はもちろんです
が、文化財についての知識や町の歴史に関心のある人達の増加に期待します。

・縄文くららが少しずつではあるが、ゆるやかに浸透してきていると実感する。地道でもよいので長くPR活動を行い、文化財へ興味をもってもらいたい。

・若い人達が参加したくなる内容であってほしい。

評価委員意見（令和2年度）

・中学校の美術部・県内デザイナーと連携して、PRするためのチラシを製作したのは大変面白い試みである。

・地元の文化財を知るや活かす等の活動が実施されているので、今後も継続して実施していく必要がある事業だと思います。

・くららグッズを町外向けにもう少し広報してはどうか。

事務事業評価シート

施 策 名	郷土の歴史・文化・芸術の保存及び継承	担当課名	歴史民俗資料館
事務事業名	民俗芸能の保存と継承	担当者名	山崎 杏由

事業の目的・内容	・「祇園囃子」「ささ踊り」「権現舞」「沖揚げ音頭」などの民俗芸能の後継者育成支援や発表機会の充実に努める。 ・映像や音声による民俗芸能の保存に努める。			
事業の対象	一般（民俗芸能保存団体）			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	0 千円	0 千円	0 千円

事業の実績・成果等（数値）	民俗芸能保存団体の現状調査を引き続き実施。 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は調査ができなかった。			
---------------	--	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☐ おおむねできている	☒ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☒ 達成できてない
自己評価	C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い	
評価説明及び考察、課題	成果： 調査文化財の概要を把握することができた。 課題： ・各団体後継者難に苦労しているため、後継者育成方法が課題。 ・コロナ禍により、民俗芸能の保存と継承が更に課題となっている。 ・芸能の保存、団体支援方法等を検討する必要があるが、手が回らない。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	C	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		C	C	C	C	C	C

評価委員意見（参考：平成31年度の評価意見）

・伝えていける方々が年齢を重ね、高齢化しているのが心配です。各活動のチャームポイントを広め、誰もが興味のある、感動出来るイベントとして残してほしいです。町の宣伝にもなると思います。

・真剣に取り組まなければすぐになくなると思う。

・課題山積といった状態。祭りは人との接触が前提だが、コロナ禍での祭りは、今後どうなっていくかが全く見通せない。

評価委員意見（令和2年度）

・活動できないと伝達もできないというのはそのとおり。

・民族芸能保存団体の活動について、支援する方法を早急に決めて実施していく必要があると思う。

・これからも中々大変な作業だと思います。愛好会など興味を持っている方々が中心となって、保存・継承も含めて資料作り等ができたらと願います。

事務事業評価シート

施 策 名	資料館施設の整備充実	担当課名	歴史民俗資料館
事務事業名	特別展・各種講習会等の普及事業の開催	担当者名	山崎 杏由

事業の目的・内容	郷土の歴史や文化財について理解を深める講座を開催し、郷土を愛する人財の育成を図る。 ふるさと学習やボランティアガイドの実施、企画展開催、関係団体と連携し、野辺地町の歴史に関する普及事業を実施する。 また、資料貸出や資料調査対応、歴史に関する出前講座等の対応をする。			
事業の対象	一般			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	100 千円	21 千円	21 千円

事業の実績・成果等（数値）	1. 企画展の開催（山車行事に関する展示） 2. 各種講座の開催 ①ふるさと歴史講座 ※新型コロナウイルス感染症のため中止 ②古文書講座（入門編：12回/述べ参加者数103名） 3. ふるさと検定「のへじ検定」の開催 一般受検者：29名（初級/13名、中級/9名、上級/7名）、合格者数：24名 小学生受検者：57名（合格者/34名）、中学生受検者：80名（合格者/28名）			
---------------	---	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☒ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	成果： 学校との連携により、若い年代への教育普及を図ることができた。 課題： ・歴史に興味のない方々に対するアプローチの検討が課題。 ・事業の効果測定が難しいことから、成果が見えにくい。 ・学校と連携し、長期的に事業を行うことが人財育成に繋がるのでは。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		A	A	B	B	B	B

評価委員意見（参考：平成31年度の評価意見）

・今後も継続してほしいです。 ・とても良い事業企画をしてきていると思う。これからも時代に合った事業に姿を変えながらも続けていってほしい。 ・PR不足を感じる。 ・ふるさと検定は是非とも続けていきたい事業。小学生が受けられるような取組みをお願いしたい。
--

評価委員意見（令和2年度）

・ふるさと検定（初級）を小学生に勧め、実施して下さったのは有難かった。 ・のへじ愛を持った町民が1人でも増えるように、事業内容を見直しながら継続される事業だと思います。 ・ふるさと検定も1つのアイデアですが、更にいろいろな形で野辺地町を学ぶ・知る場が増えればますます野辺地マイスターが育っていくと思います。 ・ふるさと検定をもう少し受験者数を増やして、野辺地町そのものに興味を持つ人が増えるよう期待したい。
--

事務事業評価シート

施 策 名	資料館施設の整備充実	担当課名	歴史民俗資料館
事務事業名	資料のデータベース作成・整備事業	担当者名	山崎 杏由

事業の目的・内容	文化財保存を図るため、歴史民俗資料館収蔵資料の整理と管理を行う。 また、収蔵資料の活用を図るため、整備・調査を行う。			
事業の対象	一般			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	484 千円	510 千円	801 千円

事業の実績・成果等 (数値)	・収蔵資料の整理（リスト化・写真撮影）、データベース作成。 ・弘前大学による資料館収蔵資料整備業務 弘前大学人文社会科学部民俗学研究室と連携し、大学民俗学実習内にて収蔵資料の整備・活用方法を検討する業務を実施。 令和3年度予定の民俗コーナーリニューアル展示により、成果発表を行う予定。 委託先：弘前大学人文社会科学部民俗学研究室山田教授、博物館学葉山准教授 内 容：資料館収蔵資料の整備・点検・分類、活用方法の検討、資料展示			
-------------------	--	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要がある。）		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	成果：徐々にではあるが、資料の整理と管理が進んできている。 課題：・膨大な遺跡発掘調査出土資料の管理や収蔵スペースの確保。 ・整理資料を含めた展示リニューアルを行い、資料の周知を図りたい。 ・データベース化にはまだまだ時間と費用がかかりそうである。		
事業の方向性	☒ さらに重点化する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

・時間はかかると思いますが、とても大切な事だと思うので今後も継続してほしいです。 ・データベース化はまだ完全ではないだろうが、着実に町民のこれからの未来のために役立つ事業だと思う。 ・データベース化の進捗度はどこまでいっているのか。また、その後、どのように活用していくのか明確にほしい。

評価委員意見(令和2年度)

・徐々にだが、資料整備・管理が進んでいるとのこと。データベース化は大事なことなので、継続してほしい。 ・文化財は地元の大事な財産なので、今後も継続して実施されるべき事業だと評価します。 ・せっかく収集した大切な資料の活用法も、明確になれば更に来館数の増加につながるのではないかな。
--

事務事業評価シート

施 策 名	資料館施設の整備充実	担当課名	歴史民俗資料館
事務事業名	館内環境整備事業	担当者名	山崎 杏由

事業の目的・内容	施設老朽化による修繕や、利用者のニーズに答えるための館内環境整備を行う。			
事業の対象	一般			
事業費	年 度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金 額	120 千円	1,263 千円	88 千円

事業の実績・成果等 (数値)	①新型コロナウイルス感染症対策用 空気清浄機購入	1,232,000円
	②事務室電話機購入	16,346円
	③館内消火器購入	14,730円

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要がある。）		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	成果：施設の適切な維持管理修繕等を行った。 課題：施設老朽化により、修繕箇所が年々増えることが推測される。 ・町の計画等を鑑みながら施設修繕を行い、持続した環境整備を図りたい。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じた、利用者の安全の確保が必要。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

・予算内で少しずつではありますが手をかけているので、今後も今まで以上に、気をつけながら計画を立て修繕してほしいと思います。

・せっかくある建物なので修繕はしっかりして欲しい。

評価委員意見(令和2年度)

・コロナ対策用で大きな決算額となったが必要なことなので、今後も環境整備を行ってほしい。

・施設を閉鎖することなく対策を適切に行い、利用できる状態で維持管理されているので評価する。

・今後も予算内で修繕してほしいです。

・古くてもきれいに使用する姿勢が伺える。土足でよいというものまた、見学しやすい環境だと思う。